

令和6年度 第4回川崎市社会教育委員会麻生市民館専門部会 摘録

■日時 令和7年2月15日（土） 午後1時00分～午後5時40分

■場所 麻生市民館大会議室

■出席委員	麻生区地域教育会議議長（部会長）	井上 俊夫
	市民委員（副部会長）	濱田 富美恵
	麻生区町会連合会常任理事	岡倉 進
	市民委員	田澤 梓
	和光大学現代人間学部非常勤講師	角田 季美枝
	麻生市民館サークル連絡会副会長	平出 圭子
	麻生区文化協会副会長	横川 博行
	麻生区PTA協議会副会長	前村 嘉昭
	川崎市麻生中学校長	金子 三弘

■事務局 麻生市民館相澤館長（岡上分館長事務取扱）、管理係内藤担当係長、社会教育振興係松本係長、齊藤課長補佐

■傍聴者 2名（企画提案会1名、選考委員会（非公開）、議事（専門部会）1名）

■議事等

1 令和6年度の主な事業・工事予定について

事務局（松本係長、内藤係長）

資料に基づき説明

横川委員

市民講師活用事業「俳句入門基礎講座」について、若い世代を対象にした募集であったが、参加者の状況はいかがか。また、内容としては句会形式か。

事務局（松本係長）

40代・50代の参加者もいるが、ほとんどは60代以上となっている。

はじめは基礎的な内容、最後は句会形式と聞いている。

田澤委員

市民講師事業では活動報告書等の提出は求めているのか。

事務局（松本係長）

報告書は特に求めていない。市民館で参加者アンケートをしている。

前村委員

市民講師事業は市民講師の育成事業であり、講師に内容を振り返ってもらうことで今後の活動につなげてもらうものではないか。

角田委員

参加者アンケートを実施しているが、参加者は終了後に記載する時間が少ない。また、アンケート内容も事業に応じて考える必要がある。市民講師事業で講師を行うだけでは今後につながらない。

事務局（松本係長）

今回の講師は実績があり、本来は市民講師事業には該当しないが、若い世代に俳句を伝えたいとの強い要望があり、体力的に次年度以降では厳しいとの申し出であったため、市民講師事業としておこなっている。

講師が発信したいこと、参加者が求めていること等を考えて事業を行っている。

濱田委員

保育ボランティア研修の実施はどうなっているのか。

事務局（松本係長）

今年度は実施しません。ボランティアさんの中で活動は見守り、または保育との考えがあり、今後話をしていきたいと考えている。

濱田副部長

保育ボランティアの高齢化、2歳以上は保育園に行く子どもが多く、預かるのは2歳未満が中心のため見守り活動と捉えている。

事務局（松本係長）

保育受入れには保険加入を条件としているが、保育対象者が少なく、保険に加入できない状況となっている。

2 令和6・7年度協議テーマの選定について

井上部会長

テーマについて、意見ををお願いします。

角田委員

前回、指定管理導入に関して中原・高津市民館の提案書確認について意見があったが、どうなっているか。

事務局（内藤係長）

教育委員会に確認したところ、提案企画の内容は黒塗りとなってしまうとのこと。

角田委員

選定委員会の結果報告と黒塗りであっても提案書と仕様書を見比べれば、ある程度確認できるのではないかと。

井上部会長

中原・高津市民館の資料と多摩・麻生市民館の仕様書を確認したい。

事務局（内藤係長）

指定管理者に対して基本的にはこれまでの活動を引き継ぐ形で行うが、新たな事業を追加して行うよう調整することは難しいと考えている。

平出委員

表現・舞台活動支援事業が行われていないが、どうなっているのか。

事務局（齊藤課長補佐）

この事業は市内市民館のうち麻生市民館だけで行われていたが、運営を行っていた団体「サウンドアンドビジョン」の代表者の不幸や高齢化により継続が困難となり、事業継続を断念したものです。学生への参加声掛けなども実施しましたが、運営できる体制はできませんでした。

この事業の実施は、ホールの利用促進もあったと聞いていますが、現状のホール予約状況を見ると、ホール利用促進は目的を達成できたと考えられる。

岡倉委員

市民館事業は無料で参加できるが、市民活動センターの事業は千円の参加費がかかる。指定管理導入後はどうなるか

前村委員

専門部会は指定管理者に意見は言えるのではないかな。これまでの話で指定管理に関する疑問や不安などがそれぞれ違うように感じる。

麻生市民館を今後どうしていくか。指定管理について確認していくべきことなど、時間軸が違う協議をしている。

事務局（松本係長）

しゃべれる・ふらりと来られる市民館、こういう市民館にする具体的な協議をお願いしたい。前期専門部会では「一箱古本市」を実施したが、これは中庭の有効活用の協議から実施したもの。施設の有効活用では、3階に学習スペースを設置したが、現在は多くの学生さん達に利用いただいている。

平出委員

指定管理導入によるデメリット・メリットを知りたい。

岡倉委員

専門部会は指定管理後も続く。麻生市民館の課題等では相談事業がある。現在、やまゆり、社協、市民館の3か所で行っているが、今後はどうしていけばよいか。

前村委員

指定管理になる課題、市民館としての課題、短期・長期の課題を区別して検討する。

横川委員

中原市民館は4月から指定管理になるが、1月から事務室近くに相談窓口が出来ている。

相澤館長

指定管理導入で今までの活動は変わらない。指定管理者が独自事業を実施する場合は区に承認を求める必要がある。

課題として岡上分館では、部屋を借りる人以外の利用がない。あまり利用されていない図書室を知ってもらうことや、つながりづくりを目的に事前申込不要でふらっと立ち寄れるような取組を今年度から実施している。

角田委員

（課題としては）利用者も社会教育、生涯学習をわかっていない。

若い世代が利用しないという点も以前からいわれている。指定管理後の事業のモニタリング、

アンケートについてはどうか。

岡倉委員

市民館だよりの内容についてはどうか。アンケートの検討はよい

事務局（松本係長）

講座等では仲間づくりも目的。アンケートを書く時間が無いとの話があったので、講座終了何分前にはアンケート記載時間にすることもできる。

相澤館長

岡上分館では講座参加者の同窓会を行い、グループづくりにつなげている。

田澤委員

専門部会は市民館の円滑な運営を図るために協議するのではないか。

アンケートの話があったが、利用者の声を求めるのであれば、講座参加者ばかりではなく、学習コーナー利用者など、対象を検討してはどうか。

濱田副部長

新たな事業を広げるのではなく今麻生市民館で実施している事業について検証していくべきではないかと思う。

井上部会長

指定管理については、中原・高津市民館の提案書・選考結果、多摩・麻生市民館の仕様書について準備してほしい。

事務局（内藤係長）

公表されている資料を準備します。

角田委員

市民館だより 6 月号に指定管理者制度が導入されることやスケジュール等について掲載できないか。

事務局（齊藤課長補佐）

市民館だよりは市民向けに発行しているが、指定管理者制度についての情報は事業者向けの内容と考える。

田澤委員

市民館だよりの効果はどのように把握しているか。市政だよりと配布方法に違いはあるのか。

事務局（齊藤課長補佐）

配布方法は、市政だよりは町会配布・ポスティングにより全戸配布している。市民館だよりは区内町会への回覧依頼及び主な公共施設等で配布しています。

効果把握は明確ではないが、市民自主事業参加者アンケートでは、講座を知った媒体で市民館たよりは 11%、チラシ 42%、友人・知人の紹介 35% となっており、一定の効果はあると考えている。

なお、市民館だよりの入稿は概ね 2 月半前となっている。

前村委員

市民館だよりの効果現状で良いか。対象者を考えて見直し・改善が必要

平出委員

市民館だよりもに問合せ先があるとよいのでは。電話番号はあるがメール等で受付できると良い
また、ルビがついていると読みやすい。

井上部会長

これまで指定管理について、社会教育事業や広報など話があったが、テーマとしてはどうしたら
らよいか。

テーマを広くとらえるため「指定管理後の麻生市民館のあり方について」として確認する。

3 その他

次回専門部会は5月中旬以降に計画しています。日程調整に協力ください。

【麻生市民館・岡上分館市民自主学級・市民自主企画事業企画提案会】 摘録

麻生市民館市民自主学級・市民自主企画事業提案会

13：26～提案会（提案者説明 5 分、質疑 5 分）

麻生市民館 3 件（学級 1 件、企画事業 2 件）

岡上分館 1 件（学級 1 件）

麻生市民館市民自主学級

・ **愉しもう 新しいご隠居スタイル（希望のご隠居プロジェクト）**

質疑応答

田澤委員）

提案者はやまゆりでの活動実績が十分にあるのに、市民館の市民自主に申込みをした理由は。

提案者）

やまゆりでは、私の印象が強く活動と一緒にいる人も決まってしまう。新たなつながりを求めたため。

角田委員）

説明の中で単発講座としての説明があったが、学級で提案になっているが。

提案者）

全回参加が困難な人でも参加できるようにと説明した。

角田委員）

若者に通じるとの内容説明があったが。

提案者）

若者に年寄りというイメージをなくしたい。

井上部会長）

今年度の講座参加者 26 人のうち麻生区民は。

提案者）

多摩区 10 人、女性が多かった。

麻生市民館市民自主企画事業

・ **高齢者が楽しく暮らすために～（愉しい高齢者になろう会）**

質疑応答

井上部会長）

高齢者として良いテーマ。この事業は役所の仕事。行うのは大変と思う。

印刷費の金額が多いと感じるが。

提案者)

金額は概算である。デザインも併せてお願いする予定です。

角田委員)

事業内容では連続講座のほうが理解を深められると思うが、なぜ自主企画での提案なのか。

提案者)

1冊の教材を2回に分けて説明し、3回目で振り返りを計画している。1回のみの参加でも教材で自習でき、参加しやすくしたいため。

浜田副部長)

説明の中でロコミに期待していたが根拠は。

提案者)

嬉しいこと等があったら他人に伝えたいと思うので。

田澤委員)

ロコミで広がった場合、期間をあけて追加実施する考えはあるか。

提案者)

3回目の振り返りで終了します。

＊終了後事務局

提案者からの事前相談で追加実施を行って回数を増やす話も出ましたが、相談を進めた中で、実施するメンバーの体力などを考慮して1回になったものです。

・おしゃべりな図書館一本と出会う、人と出会う（図書館ってなんだろうの会）

前村委員)

図書館はしゃべってはダメの認識でした。よい提案と思います。

提案者)

今年度事業では、参加者同士の会話時間はあまりとれなかったため、価値観の共有を主にしていきたい。

井上部会長)

事業の一箱図書館とは。

提案者)

イメージですが、向丘出張所で行っている私の本棚みたいに自分の好きな本を並べる。

井上部会長)

2年目の提案なので、提案書に今年度の反省点等の記載があれば良かったと思う。

提案者)

提案書提出時は今年度事業が継続中であったため記載できませんでした。

角田委員)

対話、前回の参加者同士の価値観の共有ということだが、その先に図書館について考えていますか。

提案者)

図書館は限られた人が集まるイメージ。本を使って広げていきたい。

岡上分館市民自主学級

・民話と巡る岡上古道（岡上懐古塾）

質疑応答

井上部会長)

ミカリばあさんとどんど焼きの関係について、地域によって風習は違うと思うので、歴史的な背景を調べてください。成果物への記載では、決めつけるのではなく節の1つなど記載に注意してほしい。

提案者)

ミカリばあさんは12月8日と2月8日の2回来る。悪いこと、斉の神、どんど焼きで追い払うと聞いている。岡上の歴史はかなり古く飛鳥時代。古地図を取り寄せて説明を求めたいが、予算的にどうかと思う。

浜田副部長)

成果物作成の予算が少ないようだが。

提案者)

今年度岡上分館で作成したものを参考にしている。

角田委員)

団体構成員は岡上在住が少ないので、会員募集は考えていないか。

岡上の旧家の方に話を聞いてほしい。